

(3) 地域間幹線系統

① 運行の実態

当地域では、道南バス(株)が⑤苦小牧～静内間(日高沿岸線①)、⑥静内～浦河老人ホーム間(日高沿岸線②)、ジェイ・アール北海道バス(株)が⑦静内～様似間(日勝線①、②)を運行しています。

浦河町や新ひだか町を中心とした日常生活圏を形成している当地域において、周辺地域の住民にとって必要不可欠なバス路線として、管内の中心都市である浦河町、新ひだか町や、苦小牧市を結ぶ広域的・幹線的なバス路線であり、国庫補助(地域間幹線系統補助)を活用しながら運行を維持しています。

表 3-3 地域間幹線系統の運行状況

運行主体	路線名	系統名	平均乗車密度 輸送量	区間		便数 (平日)		便数 (土日祝)		所要時間
				自	至	上	下	上	下	
道南バス (株)	⑤苦小牧 ～静内	日高 沿岸線①	7.3 37.2人	自	苦小牧駅前	上	6	上	5	約160分
				至	静内	下	5	下	4	約140分
	⑥静内～ 浦河老人 ホーム	日高 沿岸線②	3.5 12.6人	自	浦河老人 ホーム前	上	4	上	2	約90分
				至	静内	下	5	下	3	約104分
ジェイ・ アール 北海道 バス(株)	⑦静内 ～様似	日勝線①	6.0 52.8人	自	向別	上	9	上	7	約50分
				至	様似営業所	下	9	下	8	約50分
	⑦静内 ～様似	日勝線②	9.3 33.4人	自	静内	上	4	上	4	約140分
				至	様似営業所	下	4	下	3	約140分

資料：道南バス(株)(<https://www.donanbus.co.jp/>)、JHB(株)(<https://www.jrhokaidobus.com>)



図 3-8 地域間幹線系統の運行状況



② 利用者数の推移

苦小牧～静内間(日高沿岸線①)、静内～様似間(日勝線①、②)は、利用者が減少傾向にありましたが、2021(令和3)年4月のJR日高線の廃止に伴うバス路線の再編(下図の「系統内訳」のとおり)により増加しています。一方、静内～浦河老人ホーム間(日高沿岸線②)は、利用者数が減少しています。

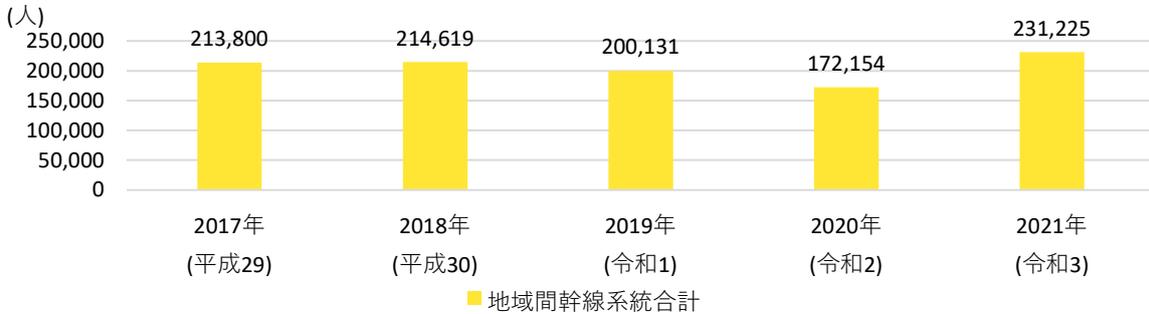


図 3-9 地域間幹線系統合計

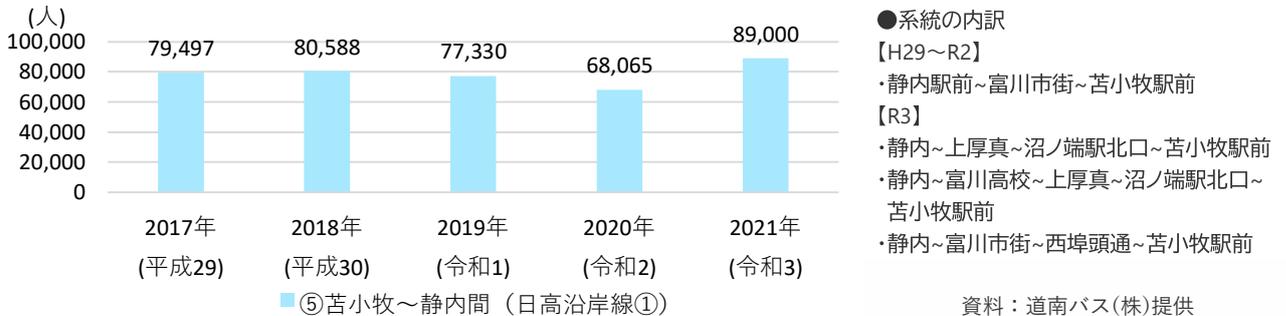


図 3-10 苦小牧～静内間(日高沿岸線①)の利用者数の推移

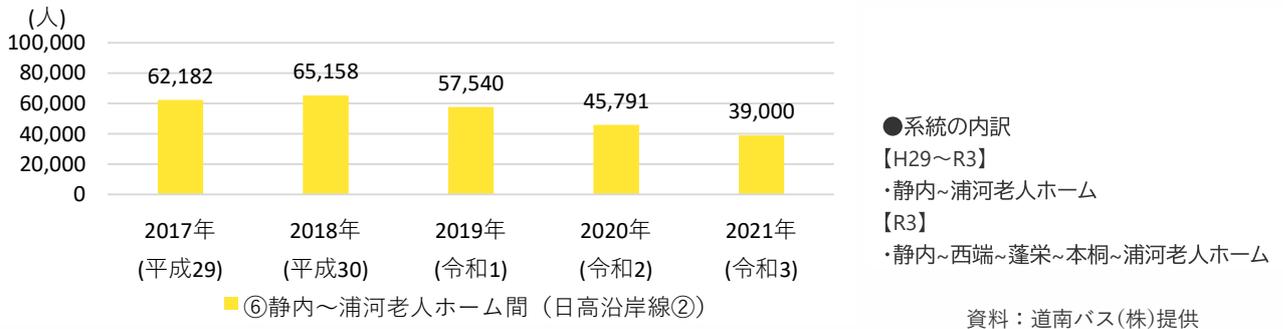


図 3-11 静内～浦河老人ホーム間(日高沿岸線②)の利用者数の推移

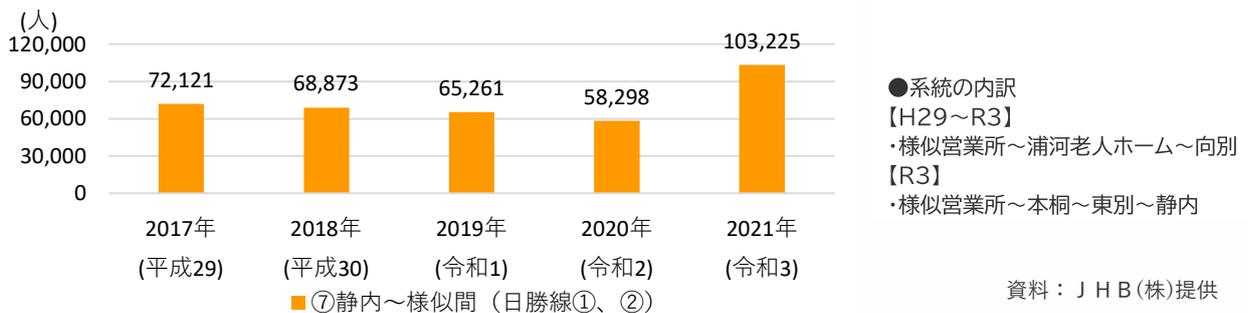


図 3-12 静内～様似間(日勝線①、②)の利用者数の推移

